

もりやま 魅力探訪

編集発行 名古屋市守山区役所 地域力推進課



3 小幡緑地 C-3

名古屋市と尾張旭市に続く計画面積約227haに及ぶ広大な自然公園。テニスコート、野球場等のスポーツ施設や芝生広場、児童公園のほか、野鳥園やゲンジボタルが飛翔する漢流広場など様々な施設を完備。池の周りでは、マメナシやウカイモウセンゴケなど貴重な湿性植物も観察できます。

4 石山寺 A-4

寛元年間(1243~)道内の開山。延宝4年(1676)、二代藩主光友が再建。山門脇の馬頭観音は昔の普光寺街道にあったものを明治時代に移した。尾張西国第十三番、金剛廿一大師十六番。



5 庄内用水元榎門 A-3

庄内川からの取水口にある旧榎門。明治43年の改築時の原形をそのまま残した。市内に現存する唯一の「人造石工法」による貴重な産業遺跡。平成5年名古屋市都市景観重要建築物に指定。

6 小幡城址 B-4

大永2年(1522)、織田敏信、信安の家臣・岡田重康の築城といわれています。一時廃城となりましたが、天正12年(1584)、徳川家康が修復し、小幡・長久手の戦いには三河と小幡山とのつぎの城として重要な役割を果たしました。



7 水屋 A-3

認定地域建造物資産 この地域は庄内川と矢田川に囲まれた「瀬古村輪中」といわれた低湿帯地だったため、有力な家では水害に対する自衛策として、水屋と呼ばれる遊離用の建物を設けました。

8 大永寺 B-4

建久元年(1190)創建。末寺12ヶ寺の小本寺格の古刹で、本尊は釈迦如来(伝悪心僧都作)。境内には樹齢500年超のラカンマキと400年超のイヌマキがあります。

9 守山瓢箪山古墳 B-4

5世紀末から6世紀初頭に築かれた。墳丘長63m・高さ5mの比較的完好な原形を保つ前方後円墳。幅10~12mの周濠は、現在では埋められて公園になっています。



昔の駅の跡

名鉄瀬戸線瓢箪山駅と小幡駅の間には、かつて笠守駅がありました。駅舎脇の南北に走る道が南北の笠守観音へ通じていたこと由来するそうです。ホームの土台が名残を残しています。



11 龍泉寺 C-3

延暦年間(782~806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参拝中、宝剣を同寺に奉納した。熱田神宮の奥の院と称する。名刹。延和四観音の一つ。天正12年(1584)、小幡・長久手の戦いで豊田秀吉などに布陣し、小幡城の徳川家康と対峙しました。国指定重要文化財の仁王門と木造地蔵内に復元された龍泉寺城は、宝物館として寺宝を多数展示。※宝物館は日・祝日のみ開館



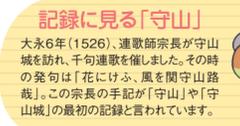
12 生玉稲荷神社 B-4

天正12年(1584)、徳川家康が小幡・長久手の戦いの道中、小幡城の守護神であった当社に立ち寄りたといわれています。江戸時代には「小幡稲荷」とも呼ばれていましたが、明治12年、現在名に改称。毎月1日・15日には境内で朝市が開かれています。



13 守山城址 A-4

天文4年(1535)、守山城に布陣した松平清康(徳川家康の祖父)が家臣に殺された「守山崩れ」の舞台。桶狭間の戦い以降は廃城になり、寛永14年(1637)、城址に空勝寺が建立されました。本堂裏に現在も残る堀の北東外側には、城址碑がひっそりと佇んでいます。



14 唐九郎(翠松園陶芸)記念館 C-3

桃山時代の織部、志野、黄瀬戸の復元に成功した加藤唐九郎氏の作品や研究資料を展示。※金・土・日・祝日閉館



湿地の植物

- マメナシ 日本では東海地方にのみ自生する樹木。春には桜に似た美しい白い花をつけます。
シラタマホシクサ 東海地方の湿地のみに分布する一年草。秋に全平穂のような小さい白花をつけます。
ウカイモウセンゴケ 東海、近畿地方の湿地のみに生育する食虫植物。
ハルリンドウ 丘陵地の日当たりのよい湿地に生育する小型の越年生草花。晴れた日の中のみ開花。

15 八竜緑地 C-3

八竜緑地は広大な湿地のため池を有した緑地帯で、特別緑地保全地区に指定されています。また、緑地内の森は湿地の水源地の森として保全されています。シデコブシを始め、マメナシ、シラタマホシクサ等の東海地方固有の植物や、食虫植物のウカイモウセンゴケなど、貴重な湿性植物が生育しています。



10 すいどうみち 緑道 B-3

大山市で取水した木曾川の水を本市浄水場へ送る導水管の上を利用して整備された。庄内川~矢田川間を南北に縦断する緑道。山下公園、西浦市場公園付近の桜並木は特にオスス。

散策・見学時のおお願い

近隣住民、通行者、所有者のご迷惑にならないよう、節度ある行動をお願いします。



16 自転車・歩行者専用道路 C-3

吉根から東谷山麓(予定)まで延長約5kmの大規模な専用道路。(現在は支所周辺まで完成)。志段味地区4小中学校児童生徒の手によるモザイクタイル壁画や、志段味戦いで住民による「志段味カルタ」は必見。

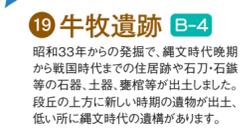


17 白沢渓谷 B-3

落差5mの滝が美しい深谷。隣接する城土公園には約150本の桜が植えられ、例年桜まつりが開催されています。平成9年度豊田市長賞都市景観賞受賞。

18 無縫塔(長慶寺) B-4

長慶寺の開山・南山土雲の墓所。南山和尚は、後に鎌倉建長寺の二世、京都東福寺の十一世となった名僧。各々の寺には無縫塔が残されており、この塔もそれらにならって建立されたと考えられています。



19 牛牧遺跡 B-4

昭和33年からの発掘で、縄文時代晩期から戦国時代までの住居跡や石刀・石鏃等の石器、土器、土器、土器等が出土しました。段丘の上方に新しい時代の遺物が出土、低い所に縄文時代の遺構があります。



20 志段味村役場跡碑 D-2

明治39年、志段味村と上志段味村が合併し志段味村となり新たに建設された村役場は、昭和28年、この石塔より北西180mの位置に移転し、翌年守山支所志段味支所となりました。同60年、支所と共に現在地に移動。



21 勝手塚古墳 D-2

6世紀初頭に築かれた。墳丘長55mの帆立貝式古墳。平成20・27年の発掘調査で墳丘を囲む円筒埴輪を確認。墳丘上には南北朝時代に勝手明神社を勧請したと伝えられる勝手神社の社殿が鎮座。



22 才井戸流 D-2

高台からの流水と近辺の湧水を水源とした全長数百mのせせらぎ。メボタルやイチョウウキゴケなども生育。



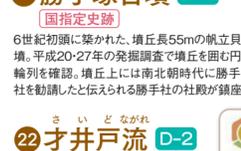
23 法輪寺 C-4

文治年間(1185~1189)、平家追討のおり死した、源義経の家来・佐藤経信、忠信兄弟の母が諸寺巡拝の途上、法輪寺の前身・正宗庵に滞在。兄弟の供養に仏眼、山門などを立派に作り直しました。山門の脇に兄弟と母の供養塔があります。



24 大森寺 C-4

尾張二代藩主光友の生母教皇院の方の菩提寺として、1661年(寛文元)、生母の故郷であるこの地に創建。中門に掲げられた山号の額は光友の真筆。



25 郷蔵 D-4

江戸時代に字ごとに造られた年貢米と備荒貯蓄のための共同貯倉。ここには現在、共有の祭礼道具が収められています。



26 東谷山 E-2

市内最高峰の標高198.3m。ムササビ、ニホンリスや特別天然記念物のニホンカモシカも生息するほか、生きた化石とも呼ばれるシデコブシが数多く自生するなど、貴重な自然が残されています。山頂から西側の山麓にかけて数多くの古墳も見られます。



27 白鳥塚古墳 E-2

4世紀前半に築かれた市内最古の前方後円墳。墳丘長約115mで、熱田の断夫山古墳、大山の青塚古墳に次ぐ県下で3番目の大きさ。後円部に白色の石が敷き詰められていて白く輝いて見えることから「白鳥塚」と名付けられたとの伝承があります。



28 尾張戸神社 E-2

創建年は不詳ですが、かつては熱田神宮に次ぐ大社であったといわれ、名古屋城の鬼門にあたることから尾張藩主の信仰も篤く、寛文年間には藩費による社殿の造営が行われました。社殿は4世紀前半に東谷山山頂に築かれた尾張戸神社古墳の上に鎮座。



29 東谷山白鳥古墳 E-2

6世紀末~7世紀初めに築かれた。直径約17mの円墳。ほぼ完全に原形を残す横穴式石室が見られる。市内唯一の古墳。昭和36年の発掘調査では、須恵器や馬具、大刀等が出土しています。



30 東谷山フルーツパーク E-2

東谷山山麓に位置する10haの園内には、果樹園や古墳をイメージした「世界の熱帯果樹温室」、果物に関する様々な知識を紹介する「くだもの館」、フリスティングコーナー等があり、四季を通して楽しめます。シダレ桜など約1,000本の桜は圧巻。



31 山の手通~ 雨池の桜並木 C-4

茶臼前から雨池公園周辺まで、約2kmにわたる桜並木。例年4月上旬には雨池公園で夜桜まつりが開催され、沢山人で賑わいます。



32 香流川緑陰歩道 D-4

香流川は長久手市若三ヶ峯を源流とする一級河川で、千種区で矢田川に合流しています。川岸の遊歩道はサイクリングや散策の格好の場所となっています。



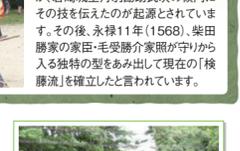
33 森孝西の桜並木 C-4

東名高速道路の西、八幡神社前の並木道。昭和55年の学区独立を記念し、その前年に桜の苗木が植樹されました。現在では、このミニ版の「大森郷祭」が5年に一度、八幡神社(大森)の例大祭に行われています。



34 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を始め、その場所を書いた一文を本尊の台座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後為道立金子千枚 此御寺牛刀二日置之也 六月吉祥日」



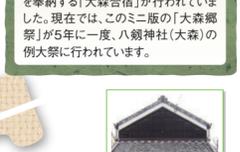
35 大森郷祭

かつて大森村では、近村1ヶ村と共に龍泉寺に飾り馬(馬の塔)や棒の手などを奉納する「大森会」が行われていました。現在では、このミニ版の「大森郷祭」が5年に一度、八幡神社(大森)の例大祭に行われています。



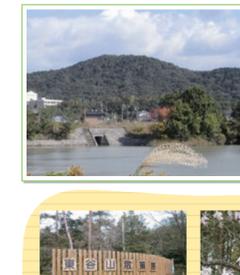
36 雨池公園ミニ知識

名古屋市設置の千番目の都市公園。大森北小学校と一体的に整備された「学校公園」で、運動場との間に塀や道路がなく、つながっています。



37 香流川緑陰歩道

香流川は長久手市若三ヶ峯を源流とする一級河川で、千種区で矢田川に合流しています。川岸の遊歩道はサイクリングや散策の格好の場所となっています。



38 志段味村役場跡碑 D-2

明治39年、志段味村と上志段味村が合併し志段味村となり新たに建設された村役場は、昭和28年、この石塔より北西180mの位置に移転し、翌年守山支所志段味支所となりました。同60年、支所と共に現在地に移動。



39 勝手塚古墳 D-2

6世紀初頭に築かれた。墳丘長55mの帆立貝式古墳。平成20・27年の発掘調査で墳丘を囲む円筒埴輪を確認。墳丘上には南北朝時代に勝手明神社を勧請したと伝えられる勝手神社の社殿が鎮座。



40 才井戸流 D-2

高台からの流水と近辺の湧水を水源とした全長数百mのせせらぎ。メボタルやイチョウウキゴケなども生育。



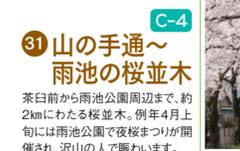
41 法輪寺 C-4

文治年間(1185~1189)、平家追討のおり死した、源義経の家来・佐藤経信、忠信兄弟の母が諸寺巡拝の途上、法輪寺の前身・正宗庵に滞在。兄弟の供養に仏眼、山門などを立派に作り直しました。山門の脇に兄弟と母の供養塔があります。



42 大森寺 C-4

尾張二代藩主光友の生母教皇院の方の菩提寺として、1661年(寛文元)、生母の故郷であるこの地に創建。中門に掲げられた山号の額は光友の真筆。



43 郷蔵 D-4

江戸時代に字ごとに造られた年貢米と備荒貯蓄のための共同貯倉。ここには現在、共有の祭礼道具が収められています。



44 東谷山 E-2

市内最高峰の標高198.3m。ムササビ、ニホンリスや特別天然記念物のニホンカモシカも生息するほか、生きた化石とも呼ばれるシデコブシが数多く自生するなど、貴重な自然が残されています。山頂から西側の山麓にかけて数多くの古墳も見られます。



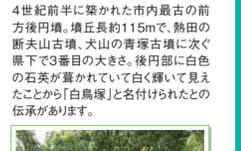
45 白鳥塚古墳 E-2

4世紀前半に築かれた市内最古の前方後円墳。墳丘長約115mで、熱田の断夫山古墳、大山の青塚古墳に次ぐ県下で3番目の大きさ。後円部に白色の石が敷き詰められていて白く輝いて見えることから「白鳥塚」と名付けられたとの伝承があります。



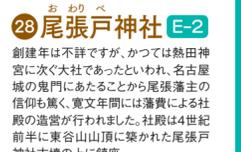
46 尾張戸神社 E-2

創建年は不詳ですが、かつては熱田神宮に次ぐ大社であったといわれ、名古屋城の鬼門にあたることから尾張藩主の信仰も篤く、寛文年間には藩費による社殿の造営が行われました。社殿は4世紀前半に東谷山山頂に築かれた尾張戸神社古墳の上に鎮座。



47 東谷山白鳥古墳 E-2

6世紀末~7世紀初めに築かれた。直径約17mの円墳。ほぼ完全に原形を残す横穴式石室が見られる。市内唯一の古墳。昭和36年の発掘調査では、須恵器や馬具、大刀等が出土しています。



48 東谷山フルーツパーク E-2

東谷山山麓に位置する10haの園内には、果樹園や古墳をイメージした「世界の熱帯果樹温室」、果物に関する様々な知識を紹介する「くだもの館」、フリスティングコーナー等があり、四季を通して楽しめます。シダレ桜など約1,000本の桜は圧巻。



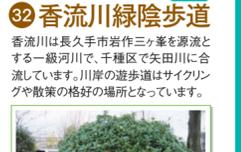
49 山の手通~ 雨池の桜並木 C-4

茶臼前から雨池公園周辺まで、約2kmにわたる桜並木。例年4月上旬には雨池公園で夜桜まつりが開催され、沢山人で賑わいます。



50 香流川緑陰歩道 D-4

香流川は長久手市若三ヶ峯を源流とする一級河川で、千種区で矢田川に合流しています。川岸の遊歩道はサイクリングや散策の格好の場所となっています。



51 森孝西の桜並木 C-4

東名高速道路の西、八幡神社前の並木道。昭和55年の学区独立を記念し、その前年に桜の苗木が植樹されました。現在では、このミニ版の「大森郷祭」が5年に一度、八幡神社(大森)の例大祭に行われています。

